

広報紙 わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
講談鑑賞会	夏のひと時、プロの講師による怪談の迫力を楽しみましょう。 演目：『処女のおお』神田山緑 『成卒の幽霊』一龍齋貞奈	8月13日(土) 午後1時～3時	30名	200円	7月31日(日)
地域交流会 「こみゆに亭カフェ」	阿佐谷在住のジャズシンガー、小田陽子の歌い語りとお話、参加者との交流。 ゲスト：小田陽子(ジャズシンガー)	8月28日(日) 午後3時30分～5時	20名	200円	8月14日(日)
文学講座 「アメリカ文学は夫婦愛から始まる」	アメリカ最初の女性詩人を取り上げ、アメリカ文学の原型と思われる個人主義や夫婦愛なども交えて紹介します。 講師：渡辺信二(立教大学名誉教授)	9月15日(木) 午後1時30分～3時	20名	200円	8月28日(日)
初心者のための俳句教室	日常生活から詩・神羅万象を五・七・五と指折ってみませんか。あなたの一句を残しましょう。主として、俳句を始めたい方が対象です。 講師：野崎海子(俳人協会会員、澤俳句会同人)	9月17日・24日、10月1日・8日 各土曜日(4回) 午後1時30分～3時30分	20名	200円	9月4日(日)
文学講座 「与謝野晶子と源氏物語」	荻窪に住んだ与謝野晶子の、二つ「源氏物語」翻訳、「新訳」と「新新訳」(全訳)に焦点をあて、晶子の人生とともに浮かびあがらせる話をします。 講師：神野藤昭夫(跡見学園女子大学名誉教授)	9月17日、10月1日 各土曜日(2回) 午後1時30分～3時	20名	200円	9月4日(日)
武蔵野の自然探訪 「善福寺池の四季」第2回	武蔵野三大湧水池の一つである善福寺池の植物を中心とした自然を四季にわたって観察します。～第2回秋 オギ、ゼンブクシアザミ、ミスヒキなど道脇の花～ 星野義延(元東京農工大学教授) 星野順子(東京環境工科大学講師)	10月6日(木) 午後1時30分～4時頃 (集合場所：都立善福寺公園上の池ポート乗場前)	15名	200円	9月25日(日)
いきいき朗読教室	演劇のように登場人物の台詞を演じ分けるなど、ドラマチックな朗読を初歩から楽しく学びます。 講師：岡根子(ドラマティック・リーディング講師)	10月6日・13日・20日・27日 各土曜日(4回) 午後1時30分～3時30分 会場：本天沼区民集会所	20名	300円	9月25日(日)

【講座の申込方法】 往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>)からも申込ができます。応募締切の数日後に結果をご連絡します。(往復はがきでの申込、ホームページでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)
●往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、荻窪地域区民センター協議会(〒167-0051 荻窪2-34-20)宛 申込みください。
●ホームページの場合(1人1件) 受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、Webメールで申込みください。なお、ホームページの開催案内の掲載開始は、申込締切日の概ね1ヵ月前を予定しています。

開催案内

地域交流会「こみゆに亭カフェ」

地域住民同士の
楽しい交流づくり

小田陽子の歌とおしゃべりで
つながろう！

ゲスト：小田陽子(阿佐ヶ谷ジャズストリートでお馴染み！歌手)
日時：8月28日(日)午後3時30分～5時
場所：荻窪地域区民センター第1・2集会所
定員：20名 参加費：200円 締切：8月14日(日)
※参加希望の方は上記講座などのご案内を御覧ください。

郷土博物館分館

問い合わせ：☎5347-9801

西棟2階展示室

企画展「杉並の源氏伝説」

大河ドラマで注目されている源氏と坂東武者ですが、杉並区内にも源氏ゆかりの神社が多数あります。区内の神社に奉納された絵馬や樹木、地名の由来などから、杉並の源氏伝説を紹介します。
【開催期間】7月16日(土)～9月4日(日)

- 場 所：杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼井天地公園内)
- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休 館 日：毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)
- 観 覧 料：無料
- 問 合 せ：☎03-5347-9801

講座紹介

文学講座「アメリカ文学は夫婦愛から始まる」

アメリカ最初の女性詩人、アン・ブラドストリートを取り上げ、アメリカ文学の原型と思われる個人主義や夫婦愛なども交えて紹介します。
アン・ブラドストリートの代表的な作品には、詩集「アメリカに生まれた10番目の詩人」(1650年出版)があります。
講師は立教大学名誉教授の渡辺信二さんです。

ピューリタン女性詩人
アン・ブラドストリート
Wikimedia Commonsより

日時：9月15日(木)午後1時30分～3時
場所：荻窪地域区民センター 第1・2集会所
※参加希望の方は上記講座などのご案内を御覧ください。

*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号：3398-9128

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の日程

8月30日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集会所
9月27日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集会所
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

地域アートとの出会い!

第44回 アート展

開催日：9月24日(土)・25日(日)
24日(土)：午前10時～午後4時 25日(日)：午前10時～午後3時30分
会場：荻窪地域区民センター 主催：荻窪地域区民センター協議会

作品募集のお知らせ

展示作品を杉並区内在住・在勤・在学の皆様から広く募集します。
締切：8月10日(水)必着

応募作品(個人・グループ)

- 絵画(油絵・水彩画・日本画・デッサンなど10号以下)
- 写真(半切以下)
- 彫刻(木・金属・石など1m以下)
- 工芸/陶芸/木竹工芸/彫金/染色など
- 書/短歌・俳句
- 手芸/表装/その他

※同一種目の出品は原則1人1点です。

お問い合わせ先

荻窪地域区民センター協議会 事務局
〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20
TEL:03-3398-9127 FAX:03-3398-9128
HP:<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

出展申込み方法

「申込書」に必要事項をご記入の上、荻窪地域区民センター協議会へ郵送・持参・FAXで提出をしてください。「申込書」は荻窪地域区民センター協議会及び本天沼区民集会所で配布します。協議会HPからダウンロードもできます。

これからのスケジュール

- 7月 31日(日)「でいえんす緑日」
- 8月 3日(日)17日(日)24日(日)「ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング」
- 6日(日)イベント「インドネシアを楽しむ」
- 13日(日)「講談鑑賞会 神田山緑・龍齋貞奈」
- 28日(日)「地域交流会「こみゆに亭カフェ」」
- 9月 15日(土)「アメリカ文学は夫婦愛から始まる」
- 17日(日)24日(日)10月1日(日)8日(日)「初心者のための俳句教室」
- 24日(日)25日(日)「与謝野晶子と源氏物語」
- 27日(日)「広報紙「わたしのおぎくぼ」」
- No.359 10月・11月号発行
- 10月 6日(日)「善福寺池の四季」第2回「現地集合」
- 6日(日)13日(日)20日(日)27日(日)「いきいき朗読教室」会場：本天沼区民集会所
- 23日(日)防災フォーラム
- 30日(日)「マルシェ＆ハロウィンイベント」
- 11月 5日(土)「荻窪音楽祭」地域ふれあいコンサート
- 6日(日)「東大アプリで考える首都圏下地層72時間」
- 9日(日)「フランス料理講座」
- 19日(日)「地域懇談会」
- 24日(土)12月1日(日)8日(日)15日(日)「大人のワイン講座」
- 26日(日)「荻窪健康サロン」荻窪地域区民センター
- 27日(日)「秋を楽しむ木の美工作教室」
- 29日(日)「広報紙「わたしのおぎくぼ」」
- No.360 12月・2023年1月号発行

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先 ● 広報部 ● 総務部 ● 地域交流部

※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、スケジュールが流動的です。開催予定は当協議会ホームページでご確認ください。



学業と部活動でグローバル人材を育む 東京都立杉並高等学校



杉並高校の高橋聡(たかはしあきら)校長、千名原容子(ちなはらようこ)副校長をお訪ねしました。

★概要

都立杉並高校は1953(昭和28)年に開校して今年70周年を迎えます。建学の精神は「自主(自分で考え正しく判断して行う)・素直(謙虚な心をもって知識を身に付ける)・気魄(強い意志で物事を成し遂げる)」。

★グローバル人材の育成

東京都教育委員会から「英語教育研究推進校」、「国際交流リーディング校」、の指定を受けています。校長・副校長ともに英語担当教師です。ニュージーランド姉妹校ハットパレー高校への10日間海外語学研修があります。



オンライン交流
昨年度は、1・2年生が台湾姉妹校台中市立台中家事商業高校とオンライン交流を行いました。

★文武両道～部活動での頑張りが進路実現へ

東京都教育委員会から文化部推進校(吹奏楽)の指定を受けています。その吹奏楽部は部員が80名以上。2018年夏に、甲子園出場の日大三高に大善戦した硬式野球部、都大会進出のサッカー部、水泳部、男子バスケットボール部が重点部活動です。



吹奏楽部



サッカー部

部活動が充実していると評判を聞いて入部をした1年生。中学時代の部活動とは一味違う練習に直面。その厳しさに絶えての頑張りが実を結びます。また、引退後の勉強でも部活動で努力した生徒さんが猛烈に追い込み、希望する大学に現役合格を勝ち取ったと3年担任より副校長に喜びの報告がありました。

なお、同校は指定校推薦枠として、青山学院大学、学習院大学、共立女子大学、立教大学、日本女子大学他があります。

★校長先生の思い

日本語でも英語でも自分の考えをしっかりと相手に伝えられる発信力と明確なビジョンを持つグローバル人材、次世代リーダーを育てたいと考えています。そのための思考力、判断力、表現力を培うように、授業で発表や生徒同士で話し合う機会を持つようになっています。

東京都立杉並高等学校

住所:〒167-0016 杉並区成田西4-15-15 ☎:03-3391-6530
ホームページ: <http://www.suginami-h.metro.tokyo.jp/>

開催案内

「講談鑑賞会」～講談の魅力を目の前で楽しもう～

お盆休みのひととき、プロの講談師による怪談話をじっくりとお楽しみください。今年も「講談出前授業」などで当協議会が大変お世話になっている神田山緑師匠に「講談鑑賞会」での公演をお願いしました。山緑師匠は、2018年に真打に昇進、テレビ、ラジオへの出演のほか、自ら講談教室を主宰するなど幅広く活躍されています。もうお一人の一龍齋貞奈さんは今年4月に二ツ目に昇進、SDGsな講談を目指す女流講談師です。



神田山緑



一龍齋貞奈

※参加を希望される方はP4の講座などのご案内をご覧ください。

- ★日 時:8月13日(土)午後1時～3時
- ★場 所:荻窪地域区民センター 第1・2集会室
- ★定 員:30名
- ★演 目:「姫妃のお百」神田山緑、「応挙の幽霊画」一龍齋貞奈

第24回

「荻窪の記憶」

こぼればなし

情報局編輯「週報」

戦時中、情報局が出していた『週報』の昭和19年11月15日号が、筆者の手元にあります。『週報』は、政府のプロパガンダのための冊子で、一部5銭、表紙に「隣組・職場で必ず回覧を」と印刷されていますから、当時の荻窪でも回覧されていたかもしれません。そんな冊子をコラムで紹介しようと考えたのは、ウクライナへの侵攻で国際的に孤立するロシアと太平洋戦争中の日本の孤独な姿が重なって見えたからです。いったい、孤立無援、追い詰められた日本は、当時、何を考えていたのか。その一端を『週報』の記事を通して覗いてみました。

まず、新聞なら社説にあたる「週言」の一部を引用で紹介しましょう。

「ラバウルでは地下道三百キロが完成し、食料は自給で、兵器工場まである。正に太平洋中の金城湯池(注・難攻不落の城のこと)が出来上がり、将兵の士気軒昂たるものがある」ラバウルの将兵を見ながら、空襲を恐れておらずに、地下で生活することが肝腎であり、作る島のないことをこぼしているよりも、掘った穴の土を屋上にあげて野菜を作ることを実行した方が賢いというものだ」

ちょっと説明を加えますと、ラバウルは南洋諸島に展開した日本軍最大の基地で、自給自足のため兵士が畑を開墾し、農作業に励んでいました。本土の都市の住民もそれを見習って地下の防空壕を住居に、野菜を作って暮らせというのです。しかし、現実にそんなことが可能だったでしょうか。本土空襲の危険が迫り、食糧不足が深刻になるなか、気休めに国民に発した無責任なアドバイスとしか思えません。それより怖いのは、それにつづく「武器はますます近代化し、生活形式はますます原始化する。これが戦争の様相である」という言葉。近代的な武器

を作るためには、国民の生活や生命は犠牲にしてもいいと言っているわけで、究極の人命軽視である「特攻」にもつながる論理です。

次の「国運賭す比島決戦」の記事は大本営海軍報道部によるものです。フィリピン沖海戦(レイテ沖海戦)で、日本軍は、空母4隻「不沈艦」といわれた武蔵をはじめとする戦艦3隻を撃沈されるなど、ほぼ全滅したのですが、大本営は「我が軍の収めたる戦果は、全く世界歴史に類がないほど大きなもの」といってはばかりませんでした。そして、記事の後半は、「レイテ方面の攻防戦は断じて勝たねばならぬ千載の一戦である」「飛行機さえあれば、絶対勝てる」「いま一億超たずして、いつの日か日本民族驕起の秋がある」と、ゴシック体の文字が絶叫しています。ちなみに、神風特別攻撃隊が創設されたのも、フィリピン沖海戦でのことでした。

「戦う物資」という記事もあります。たとえば、松の根から採れる油を航空機の燃料として使うため、所有者に根の供出を呼び掛けています。かくも深刻な物資不足で、よく戦争を続行したものだと思えますが、当時の人々はどう受け止めていたのでしょうか。現実には、戦争は、なお9カ月も続き、膨大な数の犠牲者を出すことになりました。以上、終戦の日にちなんで、「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男



イベント報告

第44回

おぎくぼセンター祭

6月5日(日)、当協議会のメインイベント「おぎくぼセンター祭」が開催されました。昨年度はコロナ禍のため、実施できず、2年ぶりの開催となりました。当日は天候にも恵まれ、待ちに待ったセンター祭とばかりオープニングの10時には地域区民センターの前に行列ができるほどの盛況でした。(来場者数は約900人)

コロナ対策のため館内では飲食禁止とするなど、まだまだ100%の実施には至りませんが、それでも舞台では7グループの発表があり、集会室では8団体の展示・実演が実施され、その他苗木の配布、杉並産野菜の販売など、盛り沢山な内容となりました。地域の皆様、ご協力頂いた関係者各位に感謝申し上げます。



オープニング時の館外風景



和太鼓演奏(和太鼓龍)



獅子舞(大宮前伝統芸能保存会)



ヒップホップダンス(ファンカ・ヒップ・ダンス)



苗木で募金(杉並区)



杉並の野菜販売(JA協力)



仮想宇宙空間シミュレーション(社会教育センター)



骨強度・血管年齢測定(ファーマみらい)



パネル展示(消費者センター)